

平成21年度

大阪大学 職員採用案内



Live Locally, Grow Globally

地域に生き世界に伸びる



大阪大学

大阪大学が求める人材

「地域に生き世界に伸びる」という精神のもと、大学に求められる「教育」、「研究」、「社会連携」などに対し、大学職員としてフレキシブルに対応できる次の人材を求めています！

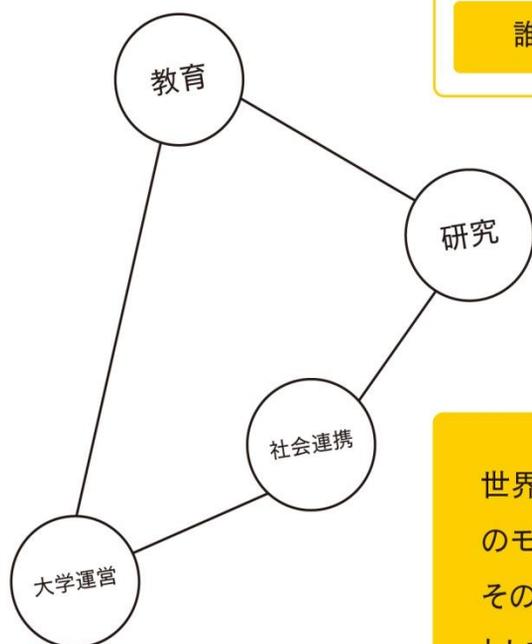
高等教育・研究機関である**大阪大学**に興味を持っている人！

何事にも、**やりがい**を持って進んで取り組める人！

新たな**発案**・試みにチャレンジする意欲のある人！

何事にも**責任**を持って、やり遂げられる人！

誰に対しても**思いやり**のある対応ができる人！



世界最高レベルの高等教育・研究機関として全国の大学のモデルとなる「阪大スタイル」を確立するため、あなたのその想像力・行動力を活かして、私たちと一緒に、「阪大人」として、より個性豊かなキャンパスにしませんか？





総長 | 鷺田清一

大阪大学は、江戸期に大坂の地に創設された「適塾」（1838年）を原点とし、さらに遡って大坂の五商人によって開設された懐徳堂（1724年）の精神を汲みつつ、学術と教育の機関として発展してきました。

大阪大学にとって、この藩校ではない市民による市民のための二つの学問所を精神的な源流とすることは、創立の歴史的経緯を超えた深い意味を持っており、本学が市民に広く開かれた学問所であるとともに、世界トップレベルの教育研究活動を推進してきた原点にもなっています。

21世紀を迎えた今日、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、大阪が生んだあの自由な研鑽の場所を、ここ大阪大学に時代にふさわしい形で具現化させるために、わたしたちは「社会に開かれた学府」として、大阪大学をますます発展させなければなりません。

いま、大阪大学では構成員全員が力を合わせ、社会から高い評価を得られるような大学づくりに取り組んでいます。

す。教育・研究から社会連携、大学運営まで、自他ともに認める、そして、全国の諸大学のモデルとなりうるような特色ある活動と運営のスタイル―「阪大スタイル」―を築いていきたいと思えます。

そのためには、皆さんのような情熱をもった方々の力が必要です。私たちとともに大阪大学の職員として、新しい大阪大学―「阪大ブランド」―をつくりあげてみませんか。



懐徳堂



適塾

採用後の配置部署と職務内容

大阪大学に採用後は、本部事務機構、大学院・学部、研究所、附属図書館、附属病院、海外拠点※ほか様々な部署で、業務を経験し、大学運営を支えていただきます。そして、将来的には大学全体の運営に関する企画や立案などの業務を担ってもらうことを期待しています。

※海外拠点：サンフランシスコ（アメリカ）、グローニンゲン（オランダ）、バンコク（タイ）

<p>研究推進・産学連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金等の競争的資金の申請 ・民間等共同研究や受託研究等の外部資金の受入 ・放射性同位元素等の使用や組換えDNA実験の申請・届出 ・内地研究員等の受入 ・知的財産の管理・活用 ・公開講座等の企画・実施 	<p>国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の大学、研究機関等との学術交流 ・外国人研究者の受入 ・留学生の受入・派遣 ・外国人留学生の奨学金及び宿舍 ・教職員の海外派遣 ・海外拠点本部に関すること ・英文研究年報等の発行 ・吹田留学生会館などの管理運営 ・国際連携関係資料の収集整備 	<p>学生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退学・卒業等の学籍情報管理 ・カリキュラムの編成、履修手続き及び修学指導 ・成績の管理 ・教育実習、教育職員免許の手続き ・授業評価や教育方法等の改善・充実 ・学生の生活指導・相談・福利厚生、健康管理 ・課外活動の支援 ・奨学金申請、入学金・授業料免除手続 ・学生宿舍の管理 ・就職指導・相談・インターンシップ ・学生募集及び入試広報 ・大学入試センター試験、個別学力試験の実施
<p>総務・企画・人事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務の総括及び連絡調整 ・各種会議・諸行事等の開催 ・規則・規程等の制定改廃 ・外部評価・自己点検評価 ・情報公開・広報活動 ・新たな人事制度の構築 ・給与・手当の決定 ・勤務時間等の管理 ・退職手当の決定、年金の請求 ・研修の企画・実施 ・教職員の福利厚生・労災関係 	<p>財務・会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の立案・要求・配分・管理 ・決算及び財務諸表の作成 ・会計諸規程に関すること ・会計に関する監査、統計調査等 ・資金の管理・運用 ・債権の管理 ・入学金・授業料等の収入業務 ・給与・出張旅費等の支給及び税金の徴収 ・購入物品等の代金支払い ・寄附金・補助金等の受入経理 ・土地建物等の資産の取得・管理 ・学内の防災及び警備物品購入・機器保守等の契約 ・備品等の管理 	<p>医事・病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の受付 ・入院患者の入退院手続き ・診療費の計算・徴収 ・社会保険等への診療報酬の請求 ・各種診療関係証明書の発行 ・病歴情報等の管理保管、情報公開 ・医療相談、医療訴訟 ・医療安全、医療事故対策 ・地域医療支援業務 ・公費負担医療関係 ・病院管理会計システムの管理・運用 ・医療情報システムの管理・運用 ・医療に関する各種統計調査
<p>図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書等の選定・発注・受入 ・図書等の目録作成・分類・製本 ・図書等の貸出・返却・配架・保管 ・図書館の広報（展示、利用案内等） ・学術文献の検索 ・他機関との図書等の相互利用業務 ・電子図書館の構築・構築・運用 ・電子ジャーナル等の刊行情報の調査及び利用 ・資料の電子化 ・学術情報の収集・調査 ・各種データベースサービスの利用 ・図書館に関する各種統計調査 	<p>施設系技術・教室系技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に係る企画立案及び調査 ・施設整備に係る予算の要求 ・建物、設備等の設計及び積算 ・建物、設備等の施工監理及び検査 ・工事の入札、契約及び監督 ・建物、設備等の維持保全 ・施設の有効活用に関する計画調整 ・省エネルギー対策 ・学生実験の準備、技術指導 ・実験機器装置の維持管理 ・データ解析、計測及び観測技術の開発、資料作成など 	<p>情報・企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の情報戦略に関する企画立案 ・事務情報化の推進・企画立案 ・事務業務系システム（人事給与、財務会計、学務情報等）の運用管理 ・事務情報管理系システム（メール、ファイル共有）の運用管理 ・学内ネットワークの運用管理 ・スパコンの利用申請、広報活動 ・スパコン等の運用管理 ・学内情報教育用システムの運用管理 ・附属図書館用システムの運用管理

人事異動・人事交流

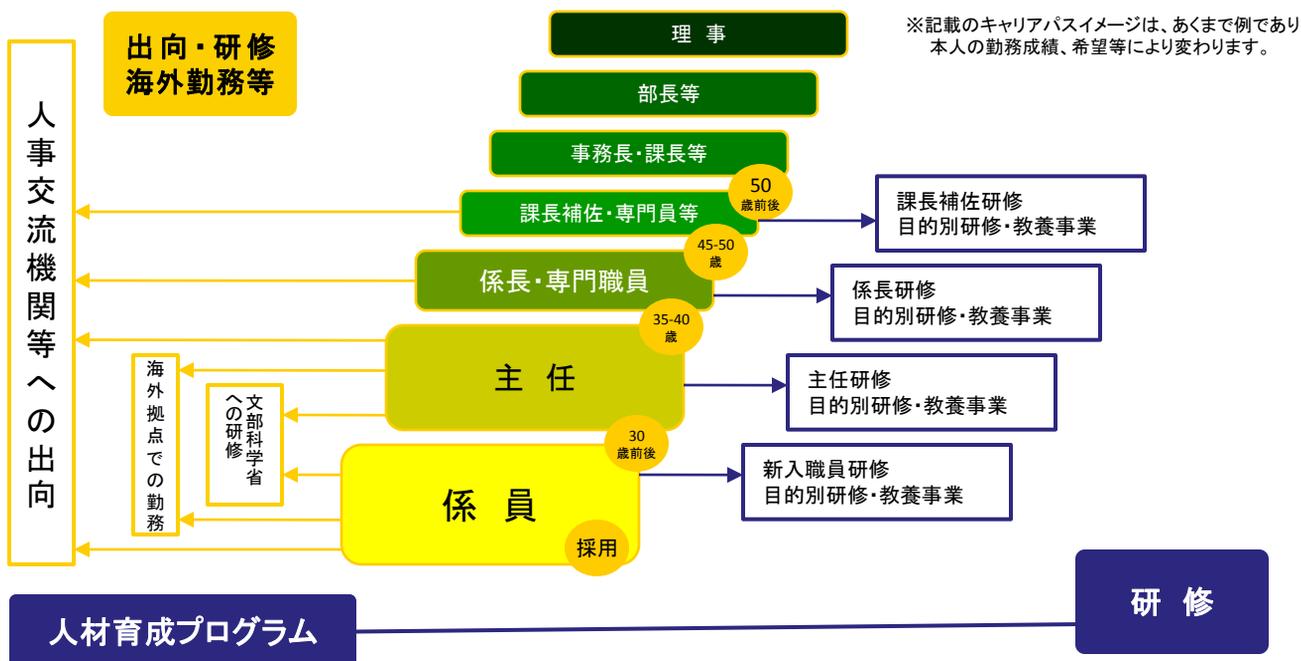
人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、学内を中心に概ね3年の期間をそのサイクルとしています。

近畿地区等の他機関との人事交流については、人材育成の観点から、学内状況を勘案し2～3年の間で交流を行っています。

その他、文部科学省や(独)日本学術振興会において研修生として勤務することもあります。

本学からの主な出向機関	
大学	大阪教育大学 神戸大学 奈良先端科学技術大学院大学 奈良教育大学 奈良女子大学など
大学共同利用機関	国立民族学博物館 国際日本文化研究センター
その他	文部科学省 (独)大学評価・学位授与機構 (独)日本学術振興会 (社)国立大学協会 国立国際美術館 奈良国立博物館 放送大学学園など

大阪大学でのキャリアパス



階層別研修

新入職員採用後及び主任、係長などへの昇任後、それぞれの業務目的に沿った研修を行っています。

目的別研修

事務情報化業務研修、産学連携・社学連携関係業務研修、国際関係業務研修(外国語研修を含む)、学生関係業務研修、人事事務研修、会計関係業務研修(法人簿記研修を含む)、病院関係業務研修、技術職員研修(学外技術研修事業を含む)、図書関係業務研修、評価者研修といった、業務目的に沿った研修を行っています。

※教養事業及び支援事業は、勤務時間外に受講することを原則としています。

教養事業

- ・教育訓練給付金活用による教養研修
- ・教養研修(放送大学)
- ・教養研修(大阪大学)
- ・大学に関する諸課題についての研修

支援事業

- 資格取得支援事業(TOEIC受験支援を含む)
- 自己啓発休職制度(現在試行中)

職員として大阪大学の授業科目を受講できるんですよ。

本学の授業科目を受講することにより、広い視野を持つ新しい教養及び専門知識を習得し、職員の識見、資質等の向上を図ることを目的として、平成21年度から実施されたもので、意欲ある職員が受講しています。

先輩職員からのメッセージ（事務系）



現在どのような仕事をしていますか？

- ・国等から研究者に交付される補助金の受入
- ・報告に係る諸手続き・地方自治体との連携活動の実施（地域連携事業）
- ・教員・職員の協働活動の推進（教職協働活動）

大阪大学の発展のためには、教育研究活動の活性化が必要不可欠です。補助金の受入等にかかる仕事では、研究者が自身の研究に没頭出来るよう、十分なサポート体制の提供を心がけ、質問対応等を行っています。地域連携事業では、大学の地域社会への貢献と併せて、「地域連携を通じて、学びのフィールドを学生に提供したい」と考え、連携事業の構築を行っています。また、教職協働活動では若手教職員を主体としたチームにより、工学研究科の発展のための総合的な提案・実施を行っています。

大阪大学の職員として今後の目標は？

今携わっている地域連携事業を軌道に乗せるのが、差し当たっての目標ですね。今後、工学研究科の学生を対象に地域連携の取組案を公募する予定です。学生主体で地域連携活動に取り組んでもらい、失敗や試行錯誤しながら、何らかの「発見・気づき」を得て欲しいと思っています。研究活動を通じた教育の実施が工学研究科の理念ですが、研究活動の中で失敗や試行錯誤する余裕が少なくなってきた今、地域連携事業でそれを補完することが出来ればと考えています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

皆さんは「大阪大学」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべるでしょうか？「日本で3番目の大学」でしょうか？「イカハン（いかにも阪大生の略）」でしょうか？大阪大学は、江戸時代の民間の学問所「懐徳堂」と私塾「適塾」を精神的源流としています。これは他の国立大学法人と異なる大阪大学のアイデンティティです。他の国立大学法人とは異なる文化を持った大阪大学に、活躍の場を求めてみませんか？

現在どのような仕事をしていますか？

- ・アニュアルレポート（英文研究年報）の編集
- ・グローバルコラボレーションセンターにかかる事務

大阪大学の研究成果を世界に発信するための英文広報誌『アニュアルレポート』の編集を担当しています。本誌には100編もの研究論文の要約を掲載するため、日々多くの先生方と連絡・調整を行っています。また、より魅力的な広報誌となるよう、印刷・製本を担当する業者や関係他部署とも協働しながら、業務を行っています。さらに、平成19年10月に実現した大阪外国語大学との統合に先立って、大阪大学の国際化を強化するために設立されたグローバルコラボレーションセンターの事務も併せて担当しています。

大阪大学に採用になってからこれまでの感想

学ぶ機会が多い、ということがいちばん印象的です。採用以来、約5年間のあいだに情報、人事、会計や知的財産などあらゆる分野の研修に参加しました。特に、昨年度は短期語学研修に参加し、大阪大学と学術交流協定のある海外の大学に3ヶ月間通う機会をいただきました。

語学を身につけただけではなく、自ら留学生の視点で学び直すという貴重な体験ができたと思っています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大学で勤務するというと学部・研究科の教務やキャリア支援の仕事を想像されると思いますが、実際の大学の運営は多岐にわたる業務が支えています。近年の変化が激しい大学を取り巻く環境の中、大阪大学の発展の一翼を担っていけるよう、皆さんと共に学び、成長しながら仕事ができることを楽しみにしています。



研究協力・産学連携



兼田 貴史さん

工学研究科研究協力室
産学連携係
平成16年4月採用



杉山 香里さん

国際部国際連携課
国際連携係
平成16年4月採用

国際交流

先輩職員からのメッセージ(事務系)

現在どのような仕事をしていますか？

時期によって業務内容は大きく変化します。

- ・春：オリエンテーション・入学式準備、1学期授業開講・履修準備等
- ・夏：オープンキャンパス、期末試験、大学院入試等
- ・秋：2学期履修登録準備、次年度カリキュラム編成準備等
- ・冬：期末試験、学部入試関係、卒業判定・卒業式等

常時、学生さんから一番近い場所で、履修・成績についての相談や、電話・窓口対応業務を行っています。先生方と協力してカリキュラムを作成し、学生さんのスムーズな大学での学びのために、様々な「裏方」業務を行います。また入試、卒業、入学などは、決してミスが許されない、非常に責任の重い仕事ですが、係内で協力し合い取り組みます。全ての業務がダイレクトに反映されるので、常にやりがいを感じられます。



学生支援

大阪大学に採用になってからこれまでの感想

最初は日々目の前の業務をこなすことで精一杯でしたが、1年ほどたち少し周りが見えてきたときに、大阪大学は本当に「大きな」大学なのだと気づきました。国内だけでなく、世界に通用するレベルであるこの大阪大学を構成する一員となっていることを誇りに思いましたが、同時に、自分の知識の無さを痛感しました。今は、ひたすら地道に経験と知識を積み重ねていくことが大切と思い、日々仕事に励んでいます。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

私自身もまだ知らないことも多いですが、大学という機関は、知れば知るほど面白く、興味深いです。大学という「教育」、「学問」、「研究」という言葉が浮かびますが、そのどれもが際限なく奥深く、常に質を高めていくものであるからではと思います。中でも伝統・実績のある大阪大学で働くことは、非常にやりがいがあり、自分の仕事がどこかでこの大学の発展に役立つと思うと、わくわくします。このような環境で、皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。



耳川 綾乃さん

法学研究科・高等司法研究科
法学部教務係

平成19年4月採用



貝原 亮さん

総務部人事課
給与第二係

平成16年4月採用

総務・企画・人事

大阪大学を目指す皆さんへ一言

本職はもはや公務員ではありません。自分の感受性、想像力を総動員し、ますます新しい発想が必要になります。大阪大学は、町人の手によって作られた総合大学です。遅しさと泥臭さが魅力です。そんな大学で、我が国の教育研究の為に、あなたの力を試してみませんか。皆さんは、これから就職活動が本格化する中で、無理して笑顔にならないといけないこともあるでしょう。どうか自分を大切に、あせらず、自分を好きでいてください。そして、最後に、あなたが大阪大学を自分の職場として選んでくださったなら、本当にうれしいです。

現在どのような仕事をしていますか？

- ・教職員の諸手当に関する認定手続き

教職員の生活の転機に、各種届け出が提出されるので、それに伴い、諸手当の支給要件を満たすのか、手当額がどの程度になるかを決定し、支給するまでの一連の手続きをしています。

- ・教職員の賞与に関する手続き

6月期及び12月期に支給される賞与（ボーナス）の支給基準を作成から支給までの手続きをしております。賞与は、インセンティブの一面でもあるので、その適切な運用についても案を作成しています。

- ・事務改革策定WG人事系チームメンバー

昨年からはまった、事務改革策定WGの人事系チームのメンバーとして、新たな業務に対する人材等の確保のため、現状の事務量の削減を目指して議論を進めています。

大阪大学の職員として今後の目標は？

大学を取り巻く環境の変化に対応しつつ、大学職員として自分の立場を見いだせる職員になりたいと思います。「高等教育マネジメントのプロフェッショナル」としての誇りを持ち、大阪大学のためにできることを教員や役員と対等に議論できる職員になりたいと思います。大学職員であっても、学生に対して教育できること、地域に対して貢献できることはたくさんあるはずですから、現在の職務に満足することなく、興味のある分野にはアンテナを伸ばしていきたいです。



先輩職員からのメッセージ（事務系）



現在どのような仕事をしていますか？

- ・ 物品の購入契約及び支払業務
- ・ 清掃や廃棄物収集等の請負契約及び支払業務
- ・ 光熱水料等の支払業務

調達センター室は主に大学全体の契約業務に携わっています。

担当している清掃や廃棄物関係は環境美化の観点から物事を判断しなければならない為、環境への意識が非常に高くなりました。また業者や各部署の会計係とのやり取りが多く、自然と知り合いが増えていくのが楽しみの一つでもあり、大学全体を俯瞰できることは非常に有益です。

大阪大学に採用になってからこれまでの感想

正直なところ「感想は？」と聞かれたら、「わかりません！」というのが本音です。

今まで、家族や周りから、社会に出ると一年なんてあっという間に過ぎると言われてきました。まさしくその通りです。採用初日が昨日のこのように感じます。ただ少しずつ周りを見渡せるようになってきました。周囲の方々はすごく優しく、教わることも多くて、アドバイスも的確にいただいで、初めての社会人生活への不安もすぐに取り除くことができました。とても感謝しています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

これから大阪大学に採用になって、一緒に仕事をしたり、議論を交わしたり、・・・そんな場面を想像してみると凄くワクワクします。色々な想いを抱いて、採用試験を受けられると思いますが、一人一人のキラキラした輝きは、きっとこの大阪大学を輝かせることができると思います。少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです。また機会があれば、是非声をかけて下さい。

現在どのような仕事をしていますか？

- ・ 大阪大学における事務情報基盤整備の企画・立案
- ・ 業務改善に関する情報システム導入・情報サービス提供等の検討
- ・ 事務職員が日常使用するパソコン等の操作支援、研修
- ・ 財務会計システムに関する問い合わせ・支援

大阪大学における事務の情報担当部門です。事務の情報化について企画立案を行い、ITシステムの観点から職員が円滑に業務ができる方法を検討、支援しています。また、ここでは学生さんの授業履修などを管理する学務情報システムや、大学の運営経費や収入などを管理する財務会計システムといったシステムの運用管理を行っています。その他、職員のIT関連知識向上のため、オフィスソフトウェアや情報セキュリティについての研修も実施しています。

大阪大学の職員として今後の目標は？

業務改善の一環で多くの教職員の方が関わって検討しているテーマに、情報共有やユーザー認証分野でのシステム構築といったものがあります。当面はそうした取組みの成功に貢献していくことが目標です。難しいテーマではありますが、自分が普段行っている業務の知識・経験が参考になることも多いので、教員・職員の方々が少しでも効率的に業務ができるようなIT環境づくりに役立てられればと思います。



大阪大学を目指す皆さんへ一言

大学の業務は、教務・研究協力・人事・会計・医療・情報・図書等色々あります。例えば、情報がIT業務環境という点から多くの業務を支えているように、どの業務も相互に関連し支え合って、大学全体の運営が成り立っています。どんな仕事をしたいのか最初から明確な理想や目標を持っていなくても、皆さんにはあせらず様々な方向にベクトルを向け、自分の可能性について大いにチャレンジしてほしいと思っています。

財務・会計



濱崎 拓郎さん
財務部豊中調達センター室
調達第二係
平成20年4月採用



山本 浩二さん
情報推進部情報企画課
平成15年10月採用

情報推進・企画

先輩職員からのメッセージ(事務系)

現在どのような仕事をしていますか？

- ・ 国立大学附属病院医療安全管理協議会事務局に係る業務
- ・ 院内医療安全関係及び感染対策関係各種委員会の事務
- ・ リスクマネジャーへ連絡・調整

私の仕事は病院勤務でも患者さんに直接接することはありません。患者さんに医療ミスが起こるのを未然に防ぐための部署で、主に医師や看護師と医療安全及び医療の質を管理する仕事をしています。大きく院内業務と院外業務の2つの業務があり、院内業務では主に医療安全と感染対策に係る審議委員会・会議等における準備から当日の運営、そして議事要旨の作成までを行っています。また、院外業務では全国42の国立大学病院の医療安全管理協議会の中央事務局として年2回の総会などの取り纏め業務等を行っています。



医事・病院



山口 恭平さん
医学部附属病院医事課
医療安全係
平成18年1月採用

休日はどのように過ごしていますか？

休日はほとんど家にいません。晴れた日にはバイクでツーリングに行き、趣味のカメラで自然の風景を撮ったりします。日常と違う場所で新鮮な空気を吸って、あまり深く考えずにシャッターを切るのが好きなのです。また、雨の日は本屋や雑貨屋を巡ったりします。凝り固まった考えを覆してくれる新しい発見が多く、一日ブラブラしていることもあります。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

私が採用面接を受けた時にもお話をしたのですが、働く上で最も大事な要素の一つが「人」だと思っています。周囲の人間とコミュニケーションを図ることなく、黙々と与えられた業務をこなすだけの人材は必要ありません。共感する心を持ち、人との繋がりを深めることのできる職員。仕事に楽しさを見出しより大きく発展させられる職員。常にアンテナを張って世の情勢に敏感である職員。そして何より大阪大学を愛せる職員。私はそのような皆さんと一緒に働きたいと思っています。



山本 侑子さん
附属図書館吹田地区
図書館サービス課
平成19年4月採用

現在どのような仕事をしていますか？

- ・ 文献の検索、相談等利用者の対応
- ・ 他館からの文献取り寄せ
- ・ 利用者向けガイダンス

附属図書館の一つ、医学・薬学系資料を扱う生命科学図書館で、参考調査サービスをしています。文献の検索や取り寄せを中心に、皆さんの学習・研究のお手伝いをしています。

また、効果的な図書館利用法や文献検索法を知っていただくためのガイダンス等も行っています。

大阪大学に採用になってからこれまでの感想

学生時代に「図書館の仕事」として想定していたのはカウンター業務中心でしたので、はじめに雑誌の契約を担当する部署に配属され、大規模な大学図書館には様々な業務があることに驚きました。

また、採用された年の秋には大阪外国語大学との統合があり、阪大がこれまで以上に大規模で多彩な大学に生まれ変わっていくのを利用者やコレクションの変化から感じました。

図書

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大阪大学は、大阪外国語大学との統合によって、日本の国立大学の中で学生数が最多になりました。

つまり、図書館利用者の数も最大級になったわけです。利用者の数が増え、ニーズの幅が広がる変化の時期だからこそ、若手の発想・やる気が期待されていると感じます。研修への参加など、自分を高める機会も多く用意されていますので、変化する図書館でぜひ皆さんの力を発揮して下さい。

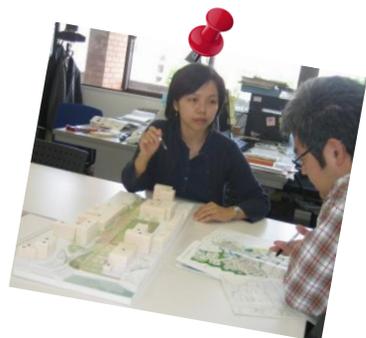


先輩職員からのメッセージ（技術系）

現在どのような仕事をしていますか？

- ・ P F I 事業に関すること・施設マネジメント委員会に関すること
- ・ 中期目標・中期計画に関すること
- ・ 研究棟の建設に関する工事の発注、監理など

施設部は、大学の建物や設備に関する工事の計画や施工監理を主に行っているところですが、中でも私の係では、PFI事業（新たな施設整備の一手法です）の推進や、大学の施設全体の事を考え決定していく施設マネジメント委員会の事務などを主に行っています。また今年度は特に、研究棟の新築工事の発注業務、現場監理も行っています。



施設系技術



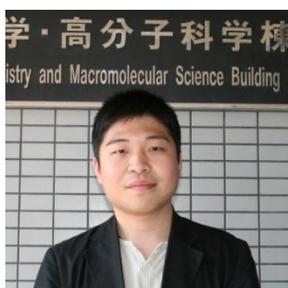
永野 陽子さん
施設部管理計画課
整備計画係 係長
平成16年4月採用

大阪大学の職員として今後の目標は？

1歳の子供がいるので（学内の保育園に預けています）、休日は家族で過ごし、あっという間に終わっていきます。平日は仕事から帰ると最低限の家事育児だけで終了！なので、休日は平日にできない用事をするとか…子供と遊ぶという用事もあります！映画を見たり、ゆっくりショッピングしたりもしたいんですが、子供が小さいうちは、貴重な家族の時間を最優先に楽しみたいと思っています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

今は「大阪大学の職員になる」ことが一番の目標ですが、希望が叶って大学職員として働き始められたら、次は、10年働き続ける事を目標にしてみてください。働き始めると、イメージと違う！ということが必ずあると思います。でもそこで早急に判断しないで欲しいです。長く続けていることで見えてくるものがあると思います。10年経った私の実感です。



稲角 直也さん
理学研究科技術部
分析測定室
平成20年4月採用

現在どのような仕事をしていますか？

- ・ 核磁気共鳴（NMR）装置における依頼測定（液体・固体）
- ・ NMR装置における保守・点検・管理
- ・ 教員及び学生に対する安全講習・測定講習等の技術指導

理学研究科 技術部 分析測定室では、研究を行う上で欠かせない分析機器を多数管理しています。私の仕事は、8台の核磁気共鳴（NMR）装置において、天然物などの微量試料測定や常に良好な状態を維持するための保守・管理及びユーザーに対する技術指導などを行っています。また技術部として、いちょう祭などの行事に参加し、一般の方を対象に施設開放・展示・デモンストレーション等を行っています。

大阪大学の職員として今後の目標は？

技術職員は、比較的学生と関わる事が多いことから、学生にNMR測定の技術を分かりやすく伝えていきたいと思っています。

また、多くの大学においては技術の継承がなされていない状況にあり、本大学で継承された技術を研究会などで積極的に発表し、他の技術職員との連携を深め、更なる技術の向上を図っていきたいです。

教室系技術

大阪大学を目指す皆さんへ一言

就職活動をしていると、周り自分を比べて不安や焦ってくる事があるかもしれません。特に大学の採用は、企業に比べると遅い傾向があります。しかしそういう時こそ、自分のペースで就職活動をしていくことが大事だと思います。自分が不安や焦ってくる気持ちは、他人も持っています。自分に自信を持っているかどうかで、結果が変わってきます。



育児休業制度



藤光 周子さん
平成15年10月採用

理学研究科研究協力係

本学の職員が安心して子育てができるよう、男性、女性にかかわらず、満3歳に達するまでの子を養育するため、育児休業を取得することができます。それが育児休業制度です。

育児休業制度を活用した感想は？

初めての母親業は、喜びも大きいですが、不安も大きなものでした。育児休業を取得したおかげで、娘にべったり寄り添いながら子育てに奮闘するなかで、ゆっくり、少しずつ、母親になることができたように思います。

育児休業中の生活について

子育ては思っていた以上にハードなものでした。昼夜とわず3~4時間ごとの授乳、お風呂、寝かしつけ、とバタバタ。娘が寝ている間に食事や睡眠です。疲れることもありますが、娘のニコリ笑顔が最高のご褒美です。

職場復帰後の育児と仕事について

復帰の予定は、先輩ママ職員のアドバイスで、娘の保育園の入園時期とずらした、1歳半になる5月にしました。4月から保育園に通い、新しい生活に少し慣れたところに、私の復帰です。親子で十分な慣らし期間が取れることで、復帰への不安も軽減されました。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

保育所の待機児童の問題がよく言われていますが、大阪大学では、キャンパス内に、職員・学生を対象とした保育園があるので、安心して育児休業を取得できます。また、周りの職員の理解やフォローもありますので、育児と仕事の両立が実現できる職場だと思います。



ゆづちゃん

自己啓発休職制度

— 私は大阪大学で学ぶ、阪大職員です！ —



小倉 孝之さん
平成18年4月採用

総務部人事課企画第一係

本学の職員が自主的に自己啓発のための活動を行い、より高い使命感と働きがいをもってその職務を遂行することができるよう、大学院への進学や海外留学等の自己啓発活動に関して、大学が試行的に実施している休職制度。それが自己啓発休職制度です。

この制度を使って大学院で学んでいる感想はいかがですか？

大学院で学ばせていただくことになり、まず実感したのは、大学はいいところだなということです。私の所属している法学研究科でも、法学部からの進学者をはじめとして、社会人や留学生など様々な方がそれぞれ自由に研究をされています。学ぼうとする方にこのような場を提供することは大学にしかできないことだろうと思います。

少し大げさではありますが、このように、「大学の存在意義」のようなものを身をもって感じている毎日です。

大阪大学の職員として今後の目標は？

私は採用されてからまだ3年しかたっていませんが、それでも、多くの職員や教員の方々と仕事をする機会がありました。また、大学院では、学生や法学研究科の教職員といった、これまでとはまた違った方々と接することもできています。今後は、大学院で得た知識や経験も活かしつつ、このような方々から少しでも頼りにされるような事務職員になることが目標です。そして、それが大阪大学の発展につながれば幸せだと思っています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

冒頭でも述べましたように、大阪大学は職場としても素晴らしいところだと思いますが、その一方で、まだまだ改善すべき点が多いのも事実です。たとえば、本当に学生のために思った大学運営ができているだろうかといったような疑問にぶつかることは、仕事をするうえで多々あるかと思います。しかし、それは決して悪いことではありません。国立大学法人化により、各大学が自らの手でそのような「疑問」を解決できる幅が広がったからです。大阪大学には8千人を超える教職員が在籍していますが、このような大きな職場では、皆さん方の経験や特技が活かせる仕事必ずあります。大阪大学でそれぞれの力を存分に発揮していただければと思います。



自己啓発休職制度を活用している皆さん



辻 敏彦さん
平成7年10月採用

国際部学生交流推進課
学生交流推進係 係長

サンフランシスコ教育研究センター勤務
(平成17年6月～平成18年9月)



海外拠点勤務経験者

サンフランシスコ教育研究センターでの業務と役割

大阪大学の広報

- ・各種イベントに参加し阪大の魅力をアピール

研究成果の発信

- ・大阪大学教員によるセミナーやシンポジウムの開催

遠隔講義の実施

- ・全米各地から招へいする講師による遠隔講義を双方向テレビ会議システムによりサンフランシスコから配信

語学研修のサポート

- ・各部署の実施する研修プログラムを現地でサポート

交流協定校との打ち合わせ

- ・交換留学プログラムの説明や交流協定の交渉

交換留学プログラムの広報

- ・留学フェアに参加し協定校学生へ周知

北米同窓会の支援

- ・アメリカ在住の同窓生に対する情報発信や同窓会の開催

交換留学生の危機管理対応

- ・緊急時に現地窓口となりサポート

大阪大学を目指す皆さんへ一言

大阪大学ではアメリカ、オランダ、タイにある海外拠点での勤務が可能です。また、語学学校での語学研修、3カ月の海外研修など、研修制度も充実しています。世界大学ランキングで現在44位である本学では、世界中から優秀な研究者が集まり、1400名を超える留学生が学んでおり、国際交流担当係でなくても、あらゆる職種において日常的に世界と繋がることのできる職場です。



文部科学省行政実務研修生



中馬 愛さん
平成18年6月採用

文部科学省大臣官房
人事課



現在どのような仕事をしていますか？

- ・法人職員の退職金精算業務
- ・給与実態調査取りまとめ公表
- ・国立大学法人評価委員会における法人給与と基準の改正報告等

現在は文部科学省行政実務研修生として、文科省人事課給与班で法人職員の退職金精算業務を担当しています。配属直後は知識のなさから大変戸惑いましたが、経験豊富な上司の方々から教えて頂き、また同年代の職員で勉強会をしてなんとか一年を乗り切りました。

文科省では幅広い業務に関わりますが、同時に業務量も多いため仕事はハードです。とはいえ、日本全国の研修生や大学関係者等と知り合え、国の機関だからこそできる業務（国会業務、叙勲や褒章などの式典の応援等）もあるため大変貴重な経験を積んでいます。

大阪大学に採用になってからこれまでの感想

採用後、本部事務機構の総務課総務係に配属になり、入学式や卒業式など大きな式典の総括を担当させてもらいました。これらはたった一日数時間の行事ですが、多くのご父兄や教職員が関わることはもちろん、阪大のすべての学生にとって一生の思い出となります。大事な式典だけに責任も感じましたが、そのおかげで多くの方々と知り合う機会が持て、たくさん支えていただきました。仕事を通じて得た人とのつながりは、困ったときや悩んだときは今でも私の支えとなっています。

大阪大学を目指す皆さんへ一言

たくさんの知性が集まり、伝統の実学に基づき、地域に生き世界に伸びようとする核—それが大阪大学です。そのことに誇りを持つ熱い志の同僚、懐広く支えてくれるベテランの上司が大勢います。ともにその一助となって阪大を盛りたてていきましょう。また、私の場合のように文科省で研修生として国の教育行政の業務を経験することも可能ですし、身近なものだとパソコンや語学の研修も度々行われています。このように幅広く研鑽を積む機会が多いことも大学職員の魅力だと思います。



給与

■ 初任給

(例) 大学卒業後、すぐに採用となった場合
一般職(一) 1級25号俸
172,200円(基本給) + 20,664円(地域手当) = 192,864円
初任給は、各人の経歴等によって決定されます。

■ 諸手当

通勤手当	公共交通機関利用者 自動車等利用者	使用額に応じ、月額 55,000円まで支給 使用距離に応じ、月額 24,500円まで支給
住居手当	借家 持ち家	家賃額(月12,000円以上)に応じ、27,000円まで支給 新築・購入の日から5年間 2,500円 (自身で新築・購入し、所有する住宅で、世帯主である場合のみ対象)
扶養手当	配偶者 配偶者以外 配偶者がいない場合	13,000円 1人当たり 6,500円 1人目 11,000円
期末・ 業績手当		6月と12月の年2回支給 (額はその期ごとに決定)
その他		超過勤務手当等



■ 昇給

各年の1月1日にそれ以前1年間の勤務成績に応じて昇給

勤務条件



■ 勤務時間

月曜日から金曜日 8時30分～17時15分
(1日8時間、週40時間勤務)

休憩時間 12時15分～13時

- ※ 窓口対応部署(教務担当や病院医事担当等)などではシフト勤務となる場合があります。
- ※ 業務上、必要がある場合には、勤務時間及び休憩時間の時間帯を変更することがあります。

■ 休日

土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

■ 休暇

年次有給休暇 年20日付与(4月採用の場合、その年は15日付与)
残日数は20日を限度として翌年に繰越可能
特別休暇 傷病、結婚、産前・産後、忌引、夏季休暇等(有給)



■ 休業

育児休業 子が満3歳に達するまでの期間について取得可能
介護休業 介護を必要とする1人につき通算して93日の範囲内で取得可能
(対象家族: 配偶者、父母、子、配偶者の父母等)

福利厚生

■ 健康保険・年金

健康保険、年金については、ともに文部科学省共済組合に加入します。
結婚手当金、出産費、病気やけがの療養費給付等の給付があります。

■ 共済事業

共済積立貯金、グループ保険、人間ドック受診費用の助成、スポーツクラブの利用助成、文部科学省共済組合宿泊施設利用補助、特別契約保養所、各種貸付等の制度があります。

保育施設

学内保育施設を設置し、教職員の仕事と育児の両立を支援しています。教職員、学生を側面からサポートすることにより、モチベーションが上がり仕事や勉学に専念できる環境が整うことにより、大阪大学の教育研究等の活動が活性化され、プラス効果を生み出すことが期待できます。



たけのこ保育園

■ 保育日

月曜日～土曜日（年末年始12/29～1/3 及び国民の休日を除く）
土曜日は休日保育

■ 保育時間

開園時間：8：00～20：00

基本保育：8：00～18：00

延長保育：7：30～8：00（早朝保育）／18：00～20：00

一時保育：月曜日～金曜日 8：00～18：00（原則として定員に空きがある場合のみ）

休日保育：土曜日 8：00～18：00

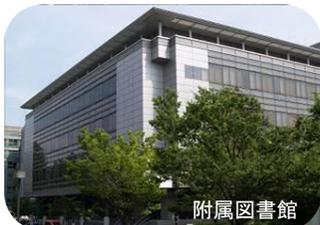
保育料金：乳幼児の年齢による



その他

■ 附属図書館

図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に備えた、教育研究のための図書館で、教職員、学生など利用することができます。



附属図書館



■ 食堂・レストラン

生協の食堂のほか、リーガロイヤルホテル、千里阪急ホテル直営のレストランなど利用できます。



レストラン「ラ・シェーナ」

■ 国立美術館・国立博物館のキャンパスメンバーズ

学生や教職員に文化や芸術、科学や歴史に親しむ機会を提供するために、美術館・博物館（京都国立近代美術館・国立国際美術館・京都国立博物館・奈良国立博物館）に無料で観覧できる（常設展に限る）「キャンパスメンバーズ」に加入しています。

職員間の交流



【大阪大学若手職員勉強会】

大阪大学の若手事務職員を中心に、業務における諸問題・諸課題の解決に向け、自発的に勉強会を開催しています。ここで出された意見等を大学・総長に提案するなど、大学改革に積極的に参加しています。現在、メンバーは主任から入職1年目の職員まで約15名。月に2回のペースで活動を行っています。



【スポーツ】

学内のスポーツを愛する職員が、お昼休みに体育館やグラウンドで思い思いにテニス、ジョギングを楽しんでいます。

その他、休日やアフターファイブに野球やサッカーを愛する職員が集まり、市の大会に参加するなど職員間の交流を行っています。



【近畿地区バレーボール大会】

年に1度、近畿地区の各機関が参加して行われるバレーボール大会にも参加し、各機関の職員とも交流を図っています。



【アンサンブル】

大阪大学の教職員・大学院生を中心に、音楽演奏の日常的活動を通し大阪大学の文化的基盤の醸成と大阪大学構成員間のコミュニケーション推進に微力を尽くすことを目的として、「大阪大学室内楽アンサンブル」を設立し、大学内における日常的な練習活動および大学行事等での定期的な演奏活動を目指しています。





豊中キャンパス

電車：

- 阪急電車宝塚線
石橋駅（特急・急行停車）下車 東へ徒歩
・ 大学教育実践センター 約15分
・ 文学部、法学部、経済学部 約20分
・ 理学部、基礎工学部 約25分

モノレール：

- 大阪モノレール
柴原駅下車 徒歩約7～15分

吹田キャンパス

電車：

- 阪急電車千里線
北千里駅（終点）下車 東へ徒歩
・ 学生部、人間科学部、医学部（医学科） 約30分
・ 医学部（保健学科）、歯学部、薬学部 約25分
・ 工学部 約15分

モノレール

- 大阪モノレール
阪大病院前駅下車 徒歩約5～15分

バス：

- 阪急バス
・ 千里中央発「阪大本部前行」、「茨木美穂ヶ丘行」
・ 北千里発「阪大病院線」

※千里中央発、北千里経由もあります。

○近鉄バス

- ・ 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」（JR茨木駅経由）

いずれも、阪大医学部前または阪大本部前下車
徒歩約5～15分

箕面キャンパス

モノレール：

- 大阪モノレール
彩都西駅下車 西へ徒歩
・ 外国学部 約15分

バス：

- 阪急バス
・ 千里中央発「阪大外国語学部前行」、「間谷住宅行」
・ 北千里発「阪大外国語学部前行」、「間谷住宅行」
阪大外国語学部前、間谷住宅4 下車



採用までのスケジュール



事務系	
事務	図書

技術系	
電気 機械	土木 建築 化学
物理	電子 情報
資源 工学	農学
	林学
	生物 ・ 生命科学

受験申込受付 平成21年4月1日～平成21年4月10日

職員統一採用試験
第一次試験
平成21年5月17日(日)又は
平成21年7月26日(日)

教養試験
専門試験

第一次試験合格者発表 8月17日(月)

大阪大学機関訪問 8月19日(水)

大阪大学で実施する
第二次試験
8月24日(月)～

図書専門試験(筆記試験)
※大阪大学では、実施しません
面接 考査 等

大阪大学採用内定



先輩職員との懇談

採用内定後のフォローアップ

■ 大阪大学採用予定者と先輩職員との懇親会(未定)

次のことを目的に採用内定者と先輩職員との懇親会を開催しています。

1. 大阪大学職員として働くにあたり、意識・意欲の向上を図ること。
2. 採用内定者への具体的な大阪大学像及び事務職員像を提供すること。
3. 職員と内定者間の積極的な交流を促進すること。
4. 大阪大学で働くことに対する疑問、不安等の解消を図ること。
5. 先輩職員(若手)にも新人教育の一つのきっかけとすること。

■ 大学広報刊行物の送付(刊行毎)

■ その他質問対応など(随時)



施設見学

大阪大学採用(平成22年4月1日付け)

※採用時期について

新卒者については平成22年4月1日付け採用、既卒者は欠員状況に応じて平成21年10月1日以降の採用を予定しています。



平成21年6月

総務部人事課

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

TEL: 06-6879-7025

<http://www.osaka-u.ac.jp>